

(講座) 分子創薬科学

(研究室) 細胞制御学

(氏名) 谷村 進

(職名) 助手

### 【研究テーマ】

1. 肝細胞増殖因子の細胞運動性亢進作用発現における ERK-MAP キナーゼの役割
2. Heat Shock Protein 70 結合タンパク質 (HspBP1) の機能解析
3. 癌細胞の増殖、運動性を阻害する植物由来ポリフェノールの探索

### 【論文発表】

#### A 欧文

##### (A-a) 原著論文

1. T. Kataoka, S. Watanabe, E. Mori, R. Kadomoto, S. Tanimura and M. Kohno: Synthesis and structure-activity relationships of thioflavone derivatives as specific inhibitors of the ERK-MAP kinase signaling pathway. *Bioorg Med Chem.*, 12, 2397-2407 (2004)

#### B 邦文

##### (B-b) 総説

1. 河野 通明、渡邊 一石、谷村 進: チューブリン阻害活性の検定、*癌と化学療法*、第 31 巻、501-506 (2004)
2. 谷村 進、河野 通明: Heat shock protein 70 結合タンパク質(HspBP1)のアポトーシス誘導促進効果、*日本臨床*、第 62 巻、1291-1296 (2004)

### 【学会発表】

#### B 国内学会

##### (B-b) 一般講演

1. 平野 愛、川畑 拓誠、谷村 進、河野 通明: 抗がん剤による Hsp70 Binding Protein 1 (HspBP1) の発現亢進とその分子機構、第 124 年会日本薬学会、大阪
2. 谷村 進、平野 愛、河野 通明: HspBP1 (Hsp70/Hsc70 阻害タンパク) の発現量調節機構、第 8 回がん分子標的治療研究会、鹿児島
3. 川畑 拓誠、渡邊 一石、谷村 進、河野 通明: MEK 阻害剤とチューブリン重合阻害剤の併用による腫瘍縮小効果、第 8 回がん分子標的治療研究会、鹿児島
4. 川田 敬、藤原 雄介、谷村 進、河野 通明: PI3 キナーゼ/Akt 経路遮断剤と Adriamycin の併用による細胞死誘導の増強、第 63 回日本癌学会学術総会、福岡
5. 藤原 雄介、谷村 進、河野 通明: PI3K 阻害剤と微小管重合阻害剤の併用による細胞死誘導増強効果の分子機構、第 63 回日本癌学会学術総会、福岡
6. 藤城 修平、小村 大輔、谷村 進、河野 通明: ERK-MAP キナーゼは RhoA 特異的グアニンヌクレオチド交換因子 GEF-H1 をリン酸化する、第 21 回日本薬学会九州支部大会、長崎
7. 平野 愛、谷村 進、河野 通明: Heat shock protein 70 結合タンパク質 (HspBP1) 過剰発現による抗がん剤のアポトーシス誘導増強とその分子機構、第 21 回日本薬学

会九州支部大会、長崎

8. 黒川 貴浩、谷村 進、林 利光、河野 通明: Acacetin と Luteolin は Akt が恒常的に活性化している癌細胞の増殖を抑制する、第 21 回日本薬学会九州支部大会、長崎
9. 川田 敬、藤原 雄介、谷村 進、尾崎 恵一、河野 通明: Akt 経路遮断剤との併用による Doxorubicin の抗がん作用増強、第 21 回日本薬学会九州支部大会、長崎

### 【研究費取得状況】

1. 肝細胞増殖因子の細胞運動性亢進作用発現における ERK-MAP キナーゼの役割; 文部省科学研究費・若手研究 (B)

### 【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	7 編	(邦文)	0 編
総説 (欧文)	0 編	(邦文)	3 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
特許	0 件		